

ひとよし市議会だより

2016/第90号/平成28年11月15日

発行：熊本県人吉市議会／編集：議会報編集委員会



スポーツパレスで行われた高齢者ふれあいスポーツ大会

CONTENTS

主な 内容

- P 2 定例会報告
- P 3～5 各委員会報告
- P 6～8 一般質問
- P 9 9月定例会で可決した意見書・決議
- P 10 9月定例会の議案等の議決結果、編集後記

市のホームページでもご覧になれます。

URL <http://www.city.hitoyoshi.lg.jp> / E-mail gikai@city.hitoyoshi.lg.jp

平成28年9月定例会を9月6日から9月28日までの
23日間の日程で開催しました

一般会計補正予算

4億7,586万9千円 増額を可決

(補正後の総額は 159 億 9,041 万 9 千円)

《主なもの》

産地パワーアップ事業推進補助金	8,142万5千円
道路新設改良事業	3,833万8千円
史跡大村横穴群保存修理事業	4,060万2千円

《特別会計》

国民健康保険事業特別会計	2億6,418万8千円増額し	総額53億1,097万5千円
後期高齢者医療特別会計	972万4千円増額し	総額 4億9,812万5千円
介護保険特別会計	1億2,417万7千円増額し	総額43億5,513万5千円
介護サービス事業特別会計	425万2千円増額し	総額 3,616万8千円
工業用地造成事業特別会計	1,981万2千円増額し	総額 1億7,516万6千円
水道事業特別会計 収益的支出	176万8千円減額し	総額 5億 806万3千円
資本的支出	9千円減額し	総額 2億8,811万5千円
公共下水道事業特別会計 収益的支出	39万8千円減額し	総額11億1,181万9千円
資本的支出	93万4千円減額し	総額 7億3,457万8千円

《人事案件》

○教育委員会委員に下記の方々を任命同意しました。

永田 ミキ氏・長船 法文氏

9月定例会最終日に決算特別委員会を設置しました

平成27年度の決算を審査するための特別委員会です。委員会は閉会中に審査を行い、12月定例会で結果を報告します。

委員長 大塚則男

副委員長 永山芳宏

委員 高瀬堅一、宮崎 保、平田清吉、本村令斗、三倉美千子

総務文教委員会報告

●委員長 西 信八郎 ●副委員長 宮原 将志
●委員 宮崎 保・犬童 利夫・本村 令斗・田中 哲

人吉市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例案を可決

平成27年度に発覚した下水道使用料の徴収誤り、及び平成28年度における補助金交付に関する不適正な事務処理、その他一連の事務処理ミスについて、公務の運営に支障を与えるとともに市行政への不信を招き、全体の奉仕者たる公務員としての信頼を損ねるものであったため、市長の給料月額10分の1の2カ月、副市長の給料月額20分の1の2カ月、教育長及び常勤の監査委員の給料月額20分の1の1カ月をそれぞれ減額するものです。

一般会計補正予算の総務部関係に5,031万7千円、教育部関係に8,840万6千円を計上

主なものは、鍛冶屋町公民館新築事業及び小柿公民館設備設置工事に対する補助金、くま川鉄道株式会社の平成27年度決算における鉄道事業の経常損失を補填するための補助金です。また、学校関係では、人吉

東小学校のプールバルブの老朽化による取り替え料やゴミ焼却炉2基の解体撤去費用、靴箱の取り替え工事費、西瀬小学校の多目的教室の床修繕、ワイヤレスマイクやスピーカーなどの購入経費、人吉西小学校の運動場の体育倉庫屋根修繕費及び球磨工業高校との境にフェンスを設置する工事費、大畑小学校の体育館昇降口の雨樋の改修工事費、東間小学校の廊下並びに電気設備改修費、第二中学校のプール濾過機の老朽化に伴う取り替え費などです。

その他、中原コミセン調理室改修工事費、史跡大村横穴群の保存修理事業費などが計上されています。

地域おこし協力隊設置事業を開始

平成29年4月採用予定の地域おこし協力隊を、本年10月から募集開始するものです。なお、募集人員は2名で、ふるさと納税業務や情報発信業務を行ってもらいます。

厚生委員会報告

●委員長 三倉 美千子 ●副委員長 塩見 寿子
●委員 高瀬 堅一・井上 光浩・村上 恵一・仲村 勝治

九日町污水中継ポンプ場を改築更新工事中

九日町にある污水中継ポンプ場は、供用開始から34年が経過し、経年的な老朽化や腐食などで機能低下がみられ、安全性の確保が困難になってきており、突発的な故障の増加が懸念されています。

このことから、平成24年度に長寿命化計画を策定し、県や九州地方整備局の承認を得て、平成27年度から2カ年の予定で改築更新工事が行われています。

工事の主な内容は、水処理設備工事、電気設備工事、耐震補強工事、アスベスト撤去工事、ポンプ井防食塗装工事、視察時は仮設配管工事が行われていました。



改築更新工事中の九日町污水中継ポンプ場

介護ロボット導入

事業者負担が大きい介護ロボット（補助用マッスルスーツ、高齢者見守りシステム）などの導入費用を軽減する国の事業により、介護従事者の介護負担軽減を図る取り組みが推進されています。今回、市内5事業所に対してその補助金が交付されます。

補助用マッスルスーツとは、着用により人の動きをサポートする筋力補助装置で、移乗作業において持ち上げや持ち下げ時に腰にかかる負担が軽減されます。

給水タンクなどの資器材を補充

平成28年熊本地震での対応により、在庫が少なくなった応急給水袋を1,000枚購入し、また給水タンク1,000リットルを5基、500リットルを1基補充し、災害などの有事に備えます。

決算認定の2件は継続審査へ

9月定例会に提案された平成27年度の水道事業と公共下水道事業の特別会計利益の処分及び決算の認定についての2件の案件は、慎重に審査する必要があることから継続審査としました。10月中旬に3日間の審査日を設けて審査し、12月定例会で報告を行う予定です。

経済建設委員会報告

●委員長 平田 清吉 ●副委員長 福屋 法晴
●委員 大塚 則男・豊永 貞夫・笹山 欣悟・永山 芳宏

本市の市道占用料徴収条例の一部を改正する条例案を可決

本条例改正は、本来であれば、平成 25 年 4 月 1 日の国の道路法施行令の一部改正に伴い、改正すべきであったものの、本市においては条例の改正がなされていなかったため、今回改正するものです。

改正内容の主なものは、道路の占用物件として、①太陽光発電設備及び風力発電設備、②津波からの一時的な避難場所としての機能を有する堅固な施設、③高速自動車国道又は自動車専用道路に設ける休憩所給油所及び自動車修理所を追加し、それに伴う占用料の徴収金も追加改正するものです。

国営川辺川土地改良事業建設事業費の負担区分について可決

本件は、昭和 58 年度に着手された国営川辺川総合土地改良事業で、これまで国・県・関係 6 市町村（人吉市・錦町・あさぎり町・多良木町・相良村・山江村）において幾度ともなく協議されましたが、合意に至らなかったため、平成 25 年 8 月、行政連絡会議において、

「農業用排水事業」は廃止し、「農地造成事業」と「区画整理事業」は、計画変更して実施した上で完了する。このことに基づき、国・県・市町村・受益農家の負担区分（負担額）を変更することについて、議会の議決を求められたものです。本市では、上・下原田町、合ノ原町、瓦屋町、鬼木町の一部地区（受益農家 2,357 人）が土地改良事業の対象となっておりましたが、まだ上原田町の尾崎団地約 2.4ha が本事業の対象として残っております。なお計画変更を進めるには、受益農家の 3 分の 2 の同意を必要とします。

委員会に付託されました一般会計補正予算（第 4 号）及び工業用造成事業特別会計補正予算（第 1 号）を可決

本予算の補正は、経済部関係の農林水産業費・商工費・災害復旧費及び人吉中核工業用地緑地整備費について、建設部関係の土木費・災害復旧費について追加補正するものです。

治水・防災に関する特別委員会報告

●委員長 福屋 法晴 ●副委員長 宮崎 保
●委員 宮原 将志・大塚 則男・平田 清吉・井上 光浩・豊永 貞夫・本村 令斗・田中 哲

川内川流域、鶴田ダムの視察実施へ

第 6 回治水・防災に関する特別委員会を平成 28 年 9 月 7 日に開催し、3 項目について審議を行いました。

(1)平成 18 年 7 月鹿児島県北部豪雨により、川内川流域はこれまでにない甚大な洪水被害を受けました。これを受け、洪水時における被害を軽減するため、平成 19 年から鶴田ダムの再開発事業に着手され、また薩摩川内市街部においては、引堤による川幅の拡幅や輪中堤による浸水被害防止対策が実施されています。以前からこの災害対策についての視察の要望がありましたので、視察実施案を検討し、今後実施することと決定しました。期日については、今後改めて国土交通省と調整していくこととなります。

(2)人吉市業務継続計画（BCP）策定の進め方については、現在策定段階における進捗状況について市執行部から報告があり、有事の際の職務代理順位と職員の参集体制、代替庁舎のリスト化及び非常時優

先業務（A から E ランク）などについて詳しく説明を受けました。

(3)人吉市・球磨川水害タイムラインについては、国や自治体、防災に関わる組織の方が連携をし、事前調整を図り、台風・水害等に対するそれぞれの役割や対応行動を定めた計画に基づき、実際に台風 12 号の際に運用した実績について報告を受けました。

9 月定例会中の 9 月 23 日にも、第 7 回の特別委員会を開催しました。これは、第 6 回特別委員会で実施することとした川内川流域における災害対策の視察について、国土交通省との日程調整が整ったことによるものです。期日は 11 月 21 日（月）とし、詳細については、今後調整を行っていきます。



市庁舎建設に関する特別委員会報告

●委員長 永山 芳宏 ●副委員長 高瀬 堅一

●委員 塩見 寿子・犬童 利夫・西 信八郎・笹山 欣悟・村上 恵一・三倉 美千子・仲村 勝治

執行部から市庁舎建設事業費のシミュレーションを提示

総務省から、熊本地震で被災した自治体庁舎の建て替えに伴う地方債起債について、原型復旧にとどまらず、行政機能強化のための増床をする部分まで認めるという方針が示されました。ただし、増床部分については、公共施設総合管理計画を策定することが前提条件となっているため、市では、平成28年度中の策定を進めています。また、庁舎規模については、職員1人当たり35.3㎡で積算すると、約1万2,000㎡になりますが、今後の維持管理を考えて実態に即した約9,000㎡を予定しています。市が示したシミュレーションでは、仮に庁舎建設に係る部分を33億円、付帯工事を7億円、総事業費を40億円で試算した場合、元利償還額が約34億円になりますが、交付税の算入を85.5%とした場合、28億9,700万円が普通交付税で元利償還に算入されると、市の持ち出しは10億4,900万円となります。従来の起債、一般単独事業債で充当率75%と一般単独災害復旧事業債

で充当率100%を比較すると、一般財源が20億6,500万円少なくて済むことになります。市の持出分10億4,900万円についても、減債基金、財調基金を充てると新たに一般財源を持ち出すこともないので、今回の制度が非常に有利となっています。

プロポーザル方式により市庁舎建設設計業務委託業者を選定

9月24日に選定委員会により最終審査が行われた結果、最優秀者には、株式会社山下設計九州支社が選定されました。代表企業枠の参加者数は5者から参加表明があり、審査内容については、5者全部が一次審査を通過し、二次審査では、プレゼンテーション及びヒアリングにより、5つのテーマに対する技術提案及び実施方針を審査し、最優秀者、優秀者が選定されました。最優秀者の業者は、市内企業枠候補者に対するヒアリング等を実施し、1者以上と設計共同企業体を結成し、市と随意契約を締結することになります。

市庁舎建設に関する特別委員会行政視察報告

日程：平成28年7月19日(火)～21日(木)

研修先：徳島県阿波市、高知県四万十町

研修項目：

【阿波市】市庁舎及び交流防災拠点施設建設事業

- ①建設事業の概要（施設の規模、工期、基本設計費、工事費、施工業者等）について
- ②庁舎建設の基本方針及び特徴について
- ③財源の確保について
- ④建設計画に関する住民の意見、要望等の取り込み方法について
- ⑤完成後の住民の反応、課題等について

【四万十町】町庁舎建設事業について

(阿波市の研修項目①～⑤と同じ内容)

研修内容

■阿波市の庁舎規模等は、延床面積が9,547.48㎡、鉄筋コンクリート造（免震構造）地上3階建、駐車場（来庁者用138台）、着工は平成25年3月、完成は平成26年12月。「市民のための庁舎」を基本理念として建設され、関連施設として、交流防災拠点施

設「アエルワ」・調整池・ヘリポート・学校給食センターが隣接して建設されていました。

■四万十町の庁舎規模等は、延床面積が6,100.42㎡、西庁舎・東庁舎ともRC造一部S造、木造（免震）地上3階建て、着工は平成24年9月、完成は平成26年3月。特徴として、RC・鉄骨・木の混構造であり、地元木材を利用した計画において、町有林からヒノキ間伐材を伐採搬出し、町内製材所で加工した製材のみを使用し成立する木造システムを構築されていました。

まとめ：委員・執行部からの意見としては、

■阿波市庁舎は本市が策定した基本構想の9,750㎡に類似した建物であり、木材がふんだんに使用されていて、やわらかい雰囲気の庁舎で参考になった。新庁舎のイメージが湧いた。

■阿波市らしさ、四万十町らしさを感じられる庁舎だった。本市も人吉市らしさを出し、より多くの市民の意見を取り入れてほしい。

などの意見が出され、今後の市庁舎建設に当たって大変参考になる研修となりました。



一般質問



9月定例会の一般質問は、9月13日から15日までの3日間で行われました。10人の議員が登壇し、さまざまな視点から、幅広く活発な議論が行われました。その要旨を各議員が報告します。
掲載は質問順としています。

事務処理ミスにおける経過について



笹山 欣悟

問 今回の一連の事務処理ミスについては、なぜ発生したのか。

答 第1に職員間のコミュニケーション不足、2つ目に、職員間の事務量のバランスの崩れ、3つ目に、行財政の実務経験の不備、4つ目に、職場環境の不備と考えている。いずれにしても活気ある職場、温かみのある職場、励ましあえる職場を目指して、この難局に職員とともに向き合っていきたいと思っている。

なお、市政を預かる最高責任者としての処分については、建設部の問題に際し、開会日に間に合わなかったのが事実である。私の(市長)処分も給料減額という方向でまとまったので、速やかに関係条例の改正案を追加提案させていただきたい。

小学校部活動の社会体育移行について



福屋 法晴

問 小学校部活動を、社会体育へ移行する必要があるのか。またこれまでは、先生方が指導されていたが、今後の指導は。

答 児童生徒にとって適切な運動環境を確保するため、県教育委員会の基本計画のもと移行する。今後、先生方が勤務中に指導をすることはできない。

問 保護者に対し、社会体育への移行説明・アンケート調査は行ったのか。

答 アンケートの主な回答は、放課後に部活動をさせたいが、指導者として協力はできないとの調査結果が出た。教育委員会として、今後、保護者・地域の方々との協働のもと、子どもの成長を願い、取り組んでいきたい。

人吉盆地南縁断層対策について



塩見 寿子

問 人吉盆地南縁断層の位置を確認したら、対応する条例をつくり「活断層防災特別推進区域」を指定し、保育所や学校などの公共施設があれば移転させるなど、何らかの対策を講じるべきではないか。

答 周囲にある施設の調査、公共施設の移転も含めて、そういう検討をしなければならない時期に来ているが、まだやれていない。山形市は、都市圏活断層図を使用して、断層の両脇50メートル以内に位置している市有施設の調査をされていると聞いた。本市でも、協議をしていかなければならないと考える。

※ その他、鳥獣被害、市営住宅、廃屋対策について質問しました。

老人福祉センターの 利用について



大塚 則男

問 老人福祉センターの利用料金を改訂後の利用者状況は、どうなっているか。

答 料金改定前の24年度と比較して26年度、27年度とも利用者は減少している。

問 老人福祉センターの利用料に關して、団体割引や回数券使用等に取り組むことはできないか。

答 老人福祉センターは、高齢者の健康づくり、介護予防、仲間づくりなど、集いの場を総合的に供与する目的を有しており、利用者の減少は、大きな問題と捉えている。早急に打開策を講じる必要性があることから、現在団体割引や回数券の導入等について前向きに検討している。

※ その他、企業誘致、石野公園
利活用等について質しました

被災者支援システム について



豊永 貞夫

問 罹災証明書発行などのさまざまな手続きが、被災者支援システムによって一元的に管理ができ、業務の効率化はもとより、支援業務の正確性及び公平性を図ることができるシステム導入を、平成23年9月に提案をしていたが、その後の状況と、今後の災害に対する備えは。

答 当時、さまざまな検討を行ったが、導入には至らなかった。しかし、熊本地震を受けて、導入に向けて前向きに検討していく必要があると考えている。

問 人吉城跡側の球磨川の河川内樹木が、かなりの高さまで成長し、石垣や白堀を照らす照明を遮っている状況だが、対策は。

答 国土交通省人吉出張所に、伐採の要望をしていく。

障がい者・高齢者に 優しいまちづくり



本村 令斗

問 障がい者に対する理解を深めるため、障がい者と健常者の交流を探索すべき。

答 交流する機会をつくることは、大変重要。障がい者の理解を深める有効な手立てを考えたい。

問 人吉市の介護保険料は、県下で3番目に高く、悲鳴が上がっている。低所得者のために減免している自治体数は、500を超え。人吉市でも実施すべき。

答 平成30年度からの事業の策定で、総合的に検討したい。

問 防災行政無線が、よく聞こえない場合の対応は。「聞こえない場合、ご連絡ください。」と、広報ひとよしに掲載すべき。

答 スピーカーの音量や向きを調整する。広報での周知は、有効だと考えている。

地域おこし協力隊、 観光振興について



宮原 将志

問 来年度から地域おこし協力隊を導入するが、どのような経緯で導入することになったのかを尋ねる。

答 ふるさと納税、移住定住の推進に向けて協力隊を募集するが、地域を外から見ると視点や、従来のやり方にとらわれない新しい考え方を持って取り組むことが必要であると考え、今回の導入に至った。

問 来春から観光列車「かわせみやませみ」が運行するが、やませみを市の鳥に制定する考えはないか尋ねる。

答 やませみの市の鳥指定に前向きに取り組みたい。「かわせみやませみ」の運行に合わせることでできれば、素晴らしい話題を提供できると考える。





消防団員の 年額報酬の引き上げを



仲村 勝治

問 地方交付税算入額は、団員1人当たり、年額報酬3万6,500円、出動手当は1回当たり7千円となっている。団員の年額報酬、出動手当の引き上げは。

答 平成16年4月1日から、現在の報酬額となっている。総務省から、市町村に対して地方交付税単価に引き上げるように要請はされている。

問 機能別消防団員（防災サポート）の退職報償金は、団員と同じ扱いなのか。

答 同じ扱いである。

問 退職報償金支給は、5年以上となっている。退職までに一定期間勤務しなかった場合は、勤務年数に算入しないとなっている。その確認はどうするのか。

答 部長が確認する。

市長の政治姿勢について



高瀬 堅一

問 熊本地震発生後、議会への説明等が遅く、相互に情報共有すべきと思うが、いかがか。

答 議会への説明等が遅くなり心苦しく思う。お詫び申し上げ、今後改善し、対応していきたい。

問 新庁舎建設について、方針が二転三転している。いかがか。

答 選挙公約から方針変更したことをお詫びしたい。財政支援を受け、実現していく。

問 新庁舎、給食・医療費無料化も重要だが、「市民の暮らしの向上」が一番である。活性化に努力してほしい。

答 公約の108の施策の実現に、全力を挙げて努力していきたい。

※ その他、少子・高齢化、小学校の部活動の社会教育体制への移行等について質問しました。

乗り合いタクシー 実証運行について



井上 光浩

問 10月中旬から約1カ月間、大畑・永野両地区で実証実験を行う予約型乗り合いタクシー区域運行において、大畑地区に隣接する錦町の大規模商業施設への運行はできないか。

答 ニーズが高ければ、改めて検討する。

問 人吉市長が会長を務める「肥薩線を未来へつなぐ協議会」の総会で、同協議会で解散議案を取り下げられたが、今後どう協議を進めていくつもりなのか。

答 構成自治体に賛同いただけるよう、最大限の努力をしていきたい。また、事業費を拠出いただいているえびの市、湧水町、球磨村とは早急に会談の機会を持たせていただきたいと考えている。

議会報告会・意見交換会 のお知らせ

日時：平成29年2月4日（土）午後2時

場所：人吉市総合福祉センター 大会議室

どなたでもお気軽にお越しください。



昨年度の議会報告会



9月定例会で可決した意見書

災害ボランティア割引制度に関する意見書（項目のみ抜粋）

- 1 地震や津波、豪雨などの大規模災害発生時に、被災地に赴く災害ボランティアの交通費や宿泊費を軽減する制度を制定すること。

青少年健全育成基本法の制定を求める意見書（要旨抜粋）

明日の社会を担う青少年の健全育成は、すべての国民の願いであるが、今日我が国の相次ぐ少年の凶悪事件等、青少年の荒廃は深刻な事態に直面している。その要因として、頻発する児童・幼児虐待事件等に象徴される家庭の崩壊が指摘されているが、さまざまな性産業の氾濫や、テレビの有害番組、インターネットや携帯電話等新しい有害環境の出現も指摘されている。

これらの問題には、各都道府県の「青少年健全育成条例」により一定の効果は出ているものの、一方ではその限界性も指摘されている。今、求められているのは、青少年健全育成に対する基本理念や方針などを明確にし、これによる一貫性のある包括的、体系的な法整備を図ることである。特に「健全な青少年は健全な家庭から育成される」という原点に立ち返り、「家庭の価値」を基本理念に据えた「青少年健全育成基本法」の制定が必要であると考えらるものである。

以上の理由により、一日も早く「青少年健全育成基本法」を制定されるよう強く要望する。

「鉄道の安全・安定輸送」及び「地域を支える鉄道の発展」を求める意見書（項目のみ抜粋）

- 1 鉄道事業各社の経営自立に向けた、安定的な運営と地域交通や鉄道ネットワークの維持・発展に資する所要の措置を図ること。
- 2 自然災害の多頻度化、大規模化を踏まえ、これによって発生する鉄道施設・設備の被害からの復旧に向けた支援スキームの拡充を図ること。
- 3 国・地方自治体による治山・治水対策の拡充・強化と、鉄道防災、予防保全の支援スキームの拡充を図ること。
- 4 老朽化が進む鉄道在来線構造物の大規模改修に向けた支援スキームの確立を図ること。
- 5 第三セクターを含む鉄道事業各社の鉄道用車両に対する固定資産税を非課税とすること。

以上3件の意見書は、国などの関係機関へ提出しました。

9月定例会で可決した決議

北朝鮮の核実験及び弾道ミサイル発射に抗議する決議（要旨抜粋）

朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）は9月9日、我が国を含む国際社会が強く自制を求める中、本年1月に引き続き5回目となる核実験を強行、また9月5日に弾道ミサイル3発を発射させ、日本の排他的経済水域（EEZ）内に落下させたばかりである。

このような度重なる北朝鮮の行為は、核実験と弾道ミサイルの開発・発射の中止を求めた国連安保理決議や六者会合共同声明、日朝平壤宣言に明らかに違反するものであり、国際世論を無視した暴挙であり、我が国のみならず北東アジア及び国際社会の平和と安全に対する重大な挑戦で、断じて容認できるものではない。

我が国は世界で唯一の被爆国であることから、本市においても昭和60年に「核兵器廃絶・平和都市宣言」を行い、核兵器の廃絶と世界の恒久平和を強く願ってきたところである。

よって人吉市議会は北朝鮮に対して、一連の核実験及び弾道ミサイル発射に対し厳重に抗議し、いかなる核実験や弾道ミサイル発射、核開発を中止し、すべての核兵器及び核計画を放棄することを強く求める。

また、政府においては、国民の安心・安全の確保に万全を期すとともに、国際社会との連携を強化し、諸懸案の早急な解決に向けて、これまで以上に強力な外交を展開するよう強く要望する。

平成28年9月定例会の議案等の議決結果

番 号	件 名	議決結果
議 第 72 号	平成28年度人吉市一般会計補正予算（第4号）	原案可決
議 第 73 号	平成28年度人吉市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議 第 74 号	平成28年度人吉市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議 第 75 号	平成28年度人吉市介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議 第 76 号	平成28年度人吉市介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議 第 77 号	平成28年度人吉市水道事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議 第 78 号	平成28年度人吉市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議 第 79 号	平成28年度人吉市工業用地造成事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議 第 80 号	平成27年度人吉市水道事業特別会計利益の処分及び決算の認定について	継続審査
議 第 81 号	平成27年度人吉市公共下水道事業特別会計利益の処分及び決算の認定について	継続審査
議 第 82 号	人吉市庁舎等移転建設審議会条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 第 83 号	人吉市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 第 84 号	人吉市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 第 85 号	市道占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 第 86 号	国営川辺川土地改良事業建設事業費の負担区分について	原案可決
議 第 87 号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	任命同意
議 第 88 号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	任命同意
議 第 89 号	人吉市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 第 90 号	平成27年度人吉市歳入歳出決算認定について	継続審査
意見第 9 号	災害ボランティア割引制度に関する意見書	原案可決
意見第10号	青少年健全育成基本法の制定を求める意見書	原案可決
意見第11号	「鉄道の安全・安定輸送」及び「地域を支える鉄道の発展」を求める意見書	原案可決
決議第 2 号	北朝鮮の核実験及び弾道ミサイル発射に抗議する決議	原案可決

平成28年9月定例会の請願・陳情等の議決結果

付託委員会	件 名	議決結果
総務文教委員会	人吉西小学校開校130～140周年記念事業に伴う急傾斜崖崩れ防止工事施工の陳情	継続審査
総務文教委員会	『ヤマセミ』を第二の市の鳥として指定を求める陳情	継続審査
総務文教委員会	人吉市が計画されている新庁舎建設における電気設備工事の発注を求める陳情	継続審査
総務文教委員会	人吉市で計画されている新庁舎建設の機械設備工事（給排水設備、空調設備等）を人吉市管工事協同組合の組合員へ発注（単独、JV等）を求める陳情	継続審査

議員別表決

「表決が割れた」議案とその議員別表決

賛否が分かれたもののみを掲載しております。（○は賛成、●は反対）

議案番号	件 名	塩見 寿子	宮原 将志	高瀬 堅一	大塚 則男	宮崎 保	平田 清吉	犬童 利夫	井上 光浩	豊永 貞夫	西 信八郎	本村 令斗	笹山 欣悟	福屋 法晴	村上 恵一	永山 芳宏	三倉美千子	仲村 勝治	田中 哲
意見第10号	青少年健全育成基本法の制定を求める意見書	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	議長職のため表決には参加しない

編集後記

人吉市老人クラブ連合会主催の「第43回人吉市高齢者ふれあいスポーツ大会」が、10月5日に人吉スポーツパレスで開催されました。1,400名の参加で、競技には延べ996人が出場。和気あいあいの雰囲気、選手や応援する人も楽しんでおられました。

日ごろは、家庭で座ったり、お茶を飲んだり、運動することなどで、考えられない方も、声を出し、手をたたいて応援されるさまを見て、このようなイベントも「来年も頑張ろう。」という、生きがいにつながるのだらうと思っただけです。

参加者全員で踊った、最後の「ギンギンギラギラ」が始まる「夕日」では、子育て孫育てを思い出されてか、和やかで楽しい種目になりました。

人吉市の人口の約3分の1は高齢者で占められます。いつまでも、元気で長生きしていただきたいと思ったところです。

（文責・表紙写真提供
三倉 美千子）

次の定例会は
12月の予定です

【議会報編集委員会】 委員長／田中 哲 副委員長／仲村 勝治
委 員／塩見 寿子・宮原 将志・平田 清吉・本村 令斗・福屋 法晴・三倉 美千子